

- 昨年度に引き続き実施いたします Stanford e-Hiroshima について、御説明いたします。
- Stanford e-Hiroshima は、アメリカ〔合衆国〕のスタンフォード大学が提供いたしますオンライン講座でありまして、全て英語で実施されます。
- 受講する県内の高校生は、オンラインでスタンフォード大学の講義を視聴いたしまして、受講生同士でディスカッションを行うことができます。
- この講座は、Stanford e-Japan として全国の高校生を対象に実施されているプログラムの地方版の一つでございまして、全国で4つの自治体のみで実施されています。
- 昨年度の受講者からは、「最初は質問するのに勇気が必要だったけれども、スタンフォード大学の先生やゲストスピーカーの専門家の皆さんが優しく丁寧に接してくれた」、「全て英語なので、講義を重ねるごとに英語力も上がった」など、好評を博しております。
- また、優秀な成績を収めた生徒2名は、スタンフォード大学で開催されるセレモニーに招待され、レポートの成果を発表することになっており、昨年度は県立世羅高等学校と県立広島高等学校の生徒2名が選ばれました。
- 教育委員会では、昨年度、広島国泰寺高等学校が拠点校となって採択された文部科学省の「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」の一環で、高校生に、より高度な学びの機会を提供することを目指しています。
- 現在、受講申込期間中でございますので、県内の高校生であれば、国立、公立、私立問わず、誰でも参加することができます。
- 詳しくは学校にお問合せいただければと思いますが、コロナ禍の中で、オンラインにより、高度な学びを受ける良いチャンスになると思いますので、高校生の皆さんには、奮って申し込みをしていただければと思っております。